

料金シミュレーションの結果について

令和 4 年 7 月 27 日 経営総務課

1 料金体系の見直しに係る経過

(1) 第 1 回上下水道審議会

これまでの料金収入の推移を検証するとともに、令和 2 年度決算における他市との比較により、コロナ禍により顕在化した現行の料金体系の課題や、財政計画による将来見通しに基づき、料金改定の必要性について審議。

⇒ **料金体系の課題について理解を深めてもらうとともに、料金改定の必要性について了承された。**

(2) 第 2 回上下水道審議会

自己水率低下の抑制に向けた施設整備計画の変更や燃料費高騰による動力費の増額に伴う、財政計画の見直し（改定率変更なし）について審議するとともに、現行の料金体系の課題を踏まえ、具体的な料金体系の見直しの方向性について審議。

経営方針の一つである「市民負担を最小限のものとする」を念頭に置き、「二部料金制」、「超過料金の逡増型」は継続しつつ、社会経済状況の変化に左右されにくい料金体系とするため、以下の 3 つの考え方で見直すことを示した。

- ① 基本料金による固定費の回収率向上
- ② 基本水量制のあり方（継続、廃止、水量変更）
- ③ 逡増性の緩和

さらに、第 1 回審議会でも示した他市との比較による課題を、より明確にするため、現行料金体系における損益分岐点を算出するとともに、他市との比較を示した。

⇒ **財政計画の見直しについて了承されるとともに、料金体系の見直しの方向性について①～③の考え方で了承された。**

また、損益分岐点の引下げが、課題への解決策の一つとして理解が得られた。

2 料金算定の方法等

算定方法は、(公社)日本水道協会や(公社)日本下水道協会が提示している「水道料金算定要領」及び「下水道使用料算定の基本的な考え方」においては、「総括原価方式」で算定するものとされており、これを踏まえ、同方式で算定するほか、本市の実情に合った算定方式などによって算定した。

検討案（資料 2）は、水道料金は 2 1 パターン、下水道使用料は 1 3 パターンで検討したが、3 つの見直しの方向性を同じレベルで検討することによって、料金が一気に跳ね上がるなど、料金の値上げに対し明らかに理解を得られないパターンが生じた。

このため、今回の値上げは、将来にわたり望ましい料金体系を構築していくための段階的なものとして整理し、まずは、安定した事業収入の充実を目的とした「基本料金による固定費の回収率向上」に重きを置き、水道を 7 パターン、下水道は 3 パターンに絞り込んだ。

シミュレーション案及び検討結果は、資料 3 - 1 から資料 4 - 3 のとおり。